

知恵と力を合わせて信州を元気に

MONTHLY REPORT

2026

月刊

中小企業レポート

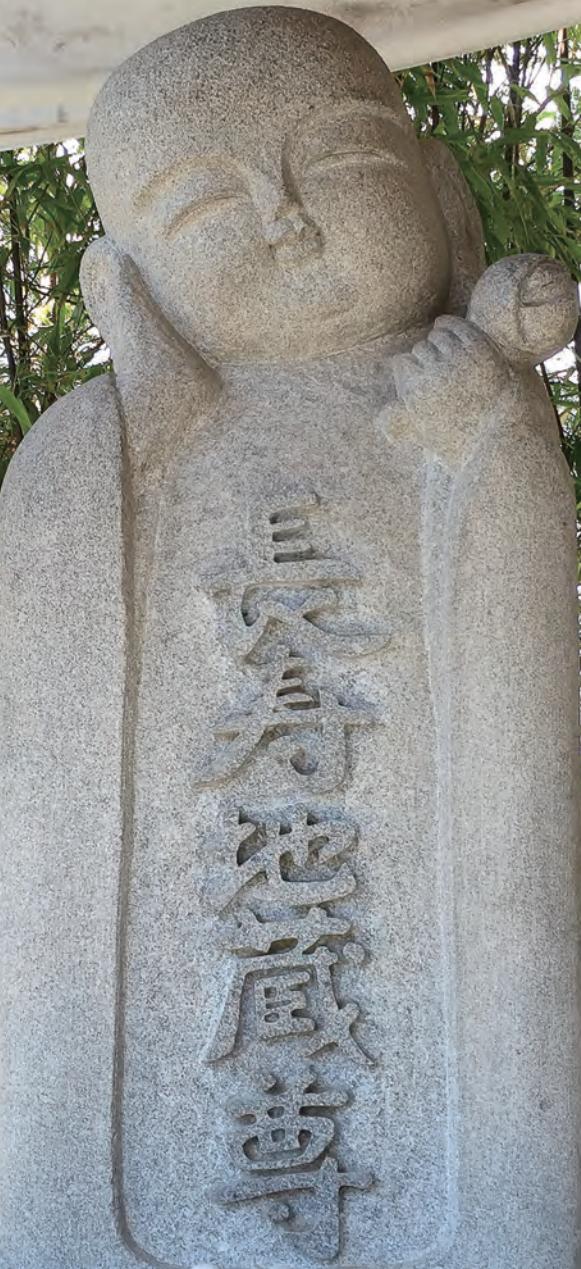
1
No.590

長野県中小企業団体中央会

巻頭特集

新年のご挨拶

贈
(株)人形工房
讚文



地域とともに、持続可能な未来へ。

けんしん BANK

サステナビリティ・リンク・ローン

サステナビリティ・リンク・ローンとは？

企業の“サステナブルな取組み”を応援する融資です。
CO₂排出削減に係る高い目標(SPTs)を達成すると金利を優遇!
省エネ・脱炭素・地域貢献の実現を金融でサポートします。

けんしんBANK
サステナビリティ・リンク・ローン

～省エネ・脱炭素経営を積極的に進める企業に～

ポイント

■CO₂排出量可視化サービスを利用し、国際的な削減目標に匹敵する目標設定が必要

こんな企業におすすめ

☑取引先から脱炭素化への取組みを求められている
☑省エネ・再エネ設備の導入を検討している

けんしんBANK
信州サステナビリティ・リンク・ローン
(脱炭素型)

～脱炭素の取組みをこれから始める企業に～

ポイント

■県の「事業活動温暖化対策計画書制度」に参加し、削減に取り組むことが必要

こんな企業におすすめ

☑これから脱炭素化への取組みをスタートしたい
☑自社のCO₂排出量を把握したい

資金使途■事業性資金(運転資金、設備資金)

融資期間■運転資金(3年以上)7年以内／設備資金(3年以上)10年以内

融資限度額■1千万円以上3億円以内

●詳しくは、窓口または担当者までお問い合わせください。

知恵と力を合わせて信州を元気に

月刊 中小企業レポート

2026

1

No.590

2 变革・挑戦の伴走支援

長野県中小企業団体中央会会長 黒岩 清

3 新春を迎えて

長野県知事 阿部 守一

4 年頭にあたって

全国中小企業団体中央会会長 森 洋

5 新年の抱負

長野県中小企業団体中央会 長野支部長 清水 光朗

長野県中小企業団体中央会 北信支部長 宮崎 正毅

長野県中小企業団体中央会 上小支部長 桑原 茂実

長野県中小企業団体中央会 佐久支部長 山浦 友二

長野県中小企業団体中央会 松本支部長 増田 博志

長野県中小企業団体中央会 大北支部長 傳刀 俊介

長野県中小企業団体中央会 木曾支部長 田口 直幸

長野県中小企業団体中央会 諏訪支部長 小池 大洋

長野県中小企業団体中央会 上伊那支部長 赤羽 義一

長野県中小企業団体中央会 下伊那支部長 岩原 克典

11 中央会インフォメーション

12 生産性革命と挑戦

株式会社丸眞製作所(岡谷市)

13 ズームアップ! 組合の魅力発見

上小建設事業協同組合(上田市)

14 わが社の経営戦略

平澤林産有限会社(伊那市)

15 信州の魅力探訪

佐久市観光協会

16 ITコーディネーターによるDX理解講座

生成AIの理解のすすめ



〈表紙写真紹介〉

参拝者が「元気に長生きし（ぴんぴん）、寝込まず楽に大往生（ころり）したい」という願いを成就してさしあげたいと佐久市野沢の成田山薬師寺の参道で毎日見守る「ぴんころ地蔵」。

毎月第2土曜日は山門市が賑やかに行われています。



変革・挑戦の 伴走支援

長野県中小企業団体中央会
会長 黒岩 清

みなさまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素、本中央会の運営につきましては、格別なるご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は本会創立70周年の節目の年であり、総代会に併せて記念式典を挙行し、また後日「人を育てる」と題して講演会も開催させていただきました。歴代役員のみなさまをはじめ、会員のみなさまのこれまでのご支援とご協力に対し、改めて感謝申し上げますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年10月の自維連立政権の発足による高市首相の誕生で、強い経済と責任ある積極財政を推し進めるところですが、中小・小規模事業者にとっては、エネルギーや原材料価格の高騰、深刻化する人手不足が大きな課題として取り上げられた1年でした。

さらに、米国の追加関税措置により、自動車産業をはじめとしてサプライチェーン全体が影響を受けており、円安進行による物価やエネルギー価格の高騰、中国情勢と相まって先行き不透明感が色濃く尾を引いているのが現状であり、早急に効果的経済対策が望まれます。

懸案である価格転嫁が十分に進まず、物価上昇を上回る賃上げ要請や既往債務返済のための資金繰りに追われ、生産性向上・省力化に向けた設備投資の原資確保も難しく、最低賃金の大幅な引上げなど、収益を圧迫する要因が多く中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい局面の状況にあります。

こうした諸課題に対応していくには、組合等連携組織による共同事業での取り組みが重要であり、地域経済に果たす役割は極めて大きいと考えています。そうした中で、県の支援を受けて取り組む人口急減地域における人材確保対策として期待の

大きい「特定地域づくり事業協同組合」の認知度が向上してきており、今期2組合が設立され、検討の町村も増えてきています。地域活性化の基盤として活用いただけるよう、関係のみなさんと連携していきたいと考えています。

また、協業化・共同化を進めるため、県の新事業として「業務共同化モデル実証事業」が創設され、組合を含む3グループが、配車業務、検査業務の共同化、バックオフィス業務省力化等の事業に取り組んでいます。今後こうした共同化の流れが、一層推進されるよう実証事例・成果を周知し、ニーズの掘り起こしを図ってまいります。

生産性向上、省力化に向けた取り組みが喫緊の課題ですが、「ものづくり・商業・サービス補助金」やカタログ型の他一般型も始まった「中小企業省力化投資補助金」をぜひ活用いただき、設備投資を推進していきたいと思います。

人口減少の中で、外国人材の活用にも期待がかかりますが、外国人技能実習制度の適正な運用や、地域経済を担う伝統的工芸品産業の産地振興にも継続して取り組み、引き続ききめ細かな支援を行ってまいります。

本年も、中小企業・小規模事業者が課題解決を図り、持続的発展を続けていくため、各種施策を効果的に活用できるよう総力を挙げて取り組みます。

変革・挑戦を掛け声で終わらせないための伴走支援として、組合設立はもとより、組合や組合員企業の働き方改革、事業承継、そして価格転嫁の環境整備に向けて改正下請法への対応等強く後押ししてまいります。

結びに、みなさまにおかれましては、本年も希望に満ちた1年となることを強く祈念いたしますとともに、格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新春を迎えて

長野県知事 阿部 守一

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、県民の皆様をはじめ多くの関係者の皆様のご理解とご支援を賜り、県政を着実に前進させることができました。深く感謝申し上げます。

我が国は今、人口構造の急激な変化、深刻さを増す気候危機、AI・デジタル技術の飛躍的進展など、かつてない大変革のただ中にあります。こうした時代にあって、長野県の未来を切り拓き、将来世代への責任を果たすため、子ども・子育て政策を含む人口減少対策、ジェンダー平等の推進、脱炭素社会への移行、財政の持続可能性の確保など、中長期的課題に正面から向き合ってまいります。

また、世界に目を向けると、分断や対立が深まりつつあります。我が国においても、所得格差や年代による価値観の相違、東京と地方の財政力格差、外国人との向き合い方など、分断の兆しが目立つようになってきました。このような時代だからこそ、対話を重ね、違いを認め合い、共に未来を創る姿勢が何より重要です。引き続き「対話と共に創」を重視して県政運営を行ってまいります。

本年も様々な課題に正面から向き合い、全国知事会会長としての立場も活かしながら、次のような視点を持って、長野県の発展と県民の皆様のしあわせ実現のため全力を尽くす決意です。

1 人口減少問題への対応

一昨年12月、オール信州で人口問題に立ち向かうため、行政、企業、地域、県民が結集して設立された「私のアクション!未来のNAGANO創造県民会議」が「信州未来共創戦略」を策定しました。

人口減少は、医療、福祉、交通、物流など暮らしの基盤全体に影響を及ぼしますが、悲観的に捉えるだけでなく、新たな社会を創り出す契機として前向きに受け止め対応することも重要です。若者や女性、高齢者、障がいのある方、外国人など、多様な人たちが力を発揮できる社会の実現に向け挑戦を続けてまいります。

2 暮らしと産業を支える取組

昨年11月に策定された国の総合経済対策を踏まえ、本県としても、暮らしと産業を守る物価高騰対策、成長投資等による経済構造の転換、県民生活の安全・安心の確保の3つを大きな柱とする独自の経済対策を進めています。その第1弾として、生活に困難を抱える方々や、厳しい経営環境にある事業者を支援するため、先月成立した補正予算の早期執行に努めます。

今後、防災・減災対策や成長投資等についても早急に具体化して「長野県総合経済対策」を取りまとめ、第2弾となる補正予算案を今月中には県議会に提出できるよう取り組みます。

今年はさらに、生産性向上や人材確保による産業競争力の強化、賃上げ促進や福祉の支援による家計可処分所得の向上、総合的な改革による持続可能な農業の実現、宿泊税を活用した観光立県の実現に、果敢に挑戦してまいります。

3 学びの県づくりと安心・安全の確保

学びの県づくりを一層推進するため、教育長と表明した「学び・教育改革に臨む私たちの決意」のもと、「ウェルビーイング実践校TOCO-TON(トコントン)」の拡充や、時代に即した特色ある県立高校づくりなどにより、子どもたち一人ひとりにあった学びの場づくりを進めてまいります。

持続可能で安心できる医療提供体制を構築するため、「新たな地域医療構想」等の策定に力を入れてまいります。また、子育て支援の観点からも、小児・周産期医療のあり方を検討し、妊産婦の皆様が安心して出産できる体制を整えます。

地域交通については、行政の主体的関与による公共交通ネットワークの維持・構築、運転手等の担い手確保、公共ライドシェアの活用などを通じ、移動の不安解消と利便性向上に取り組みます。

昨年、クマによる人身被害が相次いだことを踏まえ、ツキノワグマ対策本部を設置し、「人身被害ゼロ」を目指し対策を取りまとめました。棲み分けの徹底や捕獲の強化など、安全・安心の確保に全力を尽くします。

4 長野県150周年記念の取組

今年は、筑摩県と長野県が合併し現在の長野県が誕生してから150周年の節目を迎えます。「自らを知り 互いを知り 高め合おう『私たちの長野県』」をコンセプトに、県民参加型の取組を展開します。誕生記念日である8月21日には、「つながる長野県」をテーマに県内各地を中継で結ぶ記念式典を開催し、地域や世代を超えた県民の一体感を育んでまいります。

こうした取組に加え、全国知事会会長として、現場・地方の声を国政に的確に届け、分権型社会の実現と、ゆたかで持続可能な社会づくりに力を尽くしてまいります。また、令和10年開催の「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向け、着実に準備を進めます。

結びに、本年が皆様にとりまして、希望と安心に満ちた素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶をいたします。



年頭にあたって

全国中小企業団体中央会
会長 森 洋

明けましておめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目の年でした。中小企業・小規模事業者は、激変する経済環境の中で多くの困難な課題を克服しながら、その時々の経済、社会環境に対応できるよう積極果敢に挑戦を続け、わが国経済の発展に大きな役割を果たしてまいりましたが、現在、新たな経営課題が山積しております。関税の引上げをはじめとする自国中心的な政策の影響が世界経済に大きな影響を与え、国内でもインバウンド消費額も影響を受けることに加え、依然として物価高騰が続く中での人手不足と賃上げへの対応が急務となるなど、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年11月12日に広島県広島市で開催した第77回中小企業団体全国大会では、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約2,100名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化していることを踏まえつつ、十分な価格転嫁と取引適正化、物価高を上回る賃上げ、事業承継・事業引継、自然災害対策、DXやGXの推進、新分野展開、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリミング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応策などの最重要事項については、中小企業組合等連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も中小企業と組合が我が国の力強い成長を実現する原動力であることを強く思いながら、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、大きく飛躍・発展していく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様の情熱に満ちたご活動が実を結び、力強く飛躍される年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年の抱負

- ◆長野県中小企業団体中央会 下伊那支部長 岩原克典
- ◆長野県中小企業団体中央会 諏訪支部長 赤羽義一
- ◆長野県中小企業団体中央会 木曽支部長 小池大洋
- ◆長野県中小企業団体中央会 木曽支部長 田口直幸
- ◆長野県中小企業団体中央会 大北支部長 増田俊介
- ◆長野県中小企業団体中央会 松本支部長 増田博志
- ◆長野県中小企業団体中央会 佐久支部長 山浦友二
- ◆長野県中小企業団体中央会 上小支部長 桑原茂実
- ◆長野県中小企業団体中央会 北信支部長 宮崎正毅
- ◆長野県中小企業団体中央会 長野支部長 清水光朗



新年のごあいさつ

カシヨ株式会社 代表取締役会長
長野コンピューター印刷製版協同組合 理事長
清水 光朗

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃より中小企業団体中央会長野支部の活動に対して、格別のご支援とご指導を賜っておりますこと、心より厚く御礼を申し上げます。

昨年もまた、1年を通して大きな変化の続く年であったと感じます。

一昨年夏の猛暑による米の生産量減、インバウンド増加による需要増、生産コスト高、消費者の買い溜めを招くなどの諸要因が複雑に絡み合い、米価高騰が長期化しました。それは、諸物価の上昇を強く意識させることとなり、ひ

いては夏の参議院選挙においても与党の自民・公明両党の大敗の一因となつたように思われます。

さらに、少数与党下での政局不安定化は自民党総裁選へと繋がり、公明党の与党離脱、維新の会の連立参加など、絶余曲折を経て、石破茂に代わって、女性初の総裁・総理として高市早苗政権が誕生しました。新政権が成立してまだ2ヶ月そこそこので多くは申し上げられませんが、ここ一連の外交、国政への動きは中国との関わり方、労働環境の規制緩和など、判断は人それぞれでしょうが、目が離せない状況が続いているようです。

このような国政の動きが、地方の中 小企業を運営していくにあたりどのような影響を及ぼすのか幾許かの不安を感じますが、観光業界を中心として、地域経済の動きは活性化の方向へ向かう気配を感じるなど、明るさも見ることができます。混迷に充ちた衰退の時代と考えるよりも、私達の誰もが体験したことのない新しい時代の入り口として、前向きに考えてこそ希望を手にすることができるのではないか。

新たな気持ちで迎えたこの1年を会員企業の皆様にとってより良い年としていくために、中央会の諸事業を活性化し、会員企業それぞれの発展の一助となるよう努めてまいりたいと思います。皆様のご繁栄とご活躍を祈念しつつ、より一層のご協力をお願い申し上げて結びとさせていただきます。



新年のごあいさつ

瑞穂木材株式会社 代表取締役会長
高水木材協同組合 代表理事
宮崎 正毅

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当支部活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

振り返れば、昨年は世界的な経済環境の変動が続き、原材料価格やエネルギーコストの上昇、為替の変動、人手不足、急速なデジタル化への対応など、私たち中小企業にとって極めて厳しい経営環境が続いた1年がありました。特に、エネルギー価格の高止まりは製造業やサービス業を問わず経営コストを押し上げ、事業継続や価格転嫁の難しさを痛感されました。

私のかかわる住宅産業においても、資材価格の高騰や職人不足等により、

住宅価格は坪100万円を超える高水準となり消費者にとっては大変厳しい時代へと入ってしまいました。

また、当地域の観光面におきましては、国内外から観光客がコロナ禍以前の水準に近づきつつあり、冬季のスキー・スノーボード需要に加え、通年型のアクティビティや食文化体験も注目を集めてきています。観光と地域産業の連携が進むことで、宿泊・飲食・交通・建設など幅広い分野に波及効果も生まれてきています。

本年は、国の新たなリーダーに女性として初めての高市総理が就任され、中小企業支援や地方創生に関する政策の推進が期待される年でもあります。特に、エネルギーコスト負

担軽減策、省エネルギー設備導入支援、再生可能エネルギーの活用促進、デジタル化やDX推進、海外展開や販路拡大のための支援など、地域企業の競争力強化に直結する施策が着実に実行されることを強く望んでおります。

また、人口減少や高齢化が進む中で、若手人材の確保・育成は喫緊の課題です。地元高校・大学との連携強化、働きやすい職場環境づくり、女性やシニアの活躍推進など、多様な人材が輝ける地域経済の実現に向けた取り組みを行っていかなければなりません。

このようにたくさんの問題や課題が多い時代だからこそ、各組合員同士が、知恵を出し、協力し合い中央会を軸にこの難局を乗り切らなくてはならないのではないか。

結びに会員企業様のますますのご繁栄とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

上田冷蔵株式会社 代表取締役社長
上田卸商業協同組合 理事長

桑原 茂実

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年を振り返りますと記録的を超えて「歴史的猛暑、少雨」の長い夏を経て糖度の高い果実、松茸の不作など農産物や海水温の高さや海流の変化で水産物など大きな影響を被った年となってしまいました。

国内景気は、新政権への期待などを受けた日経平均株価が連日5万円を超えた株高を追い風に、幅広い業種で景況感が持ち直す動きが続いていると報じられています。一方で、原材料や物流費の増加や慢性的な人手

不足は引き続き大きな問題となっています。

11月20日上田恵比寿神社の「えびす講祭」に参列してきました。子供の頃はお正月に新調する衣類類を買ってもらいました。帰途は紅白幕で覆われた会場で回転式抽選機から転がり落ちる玉の色に一喜一憂したものでした。しかし今では、その後から米国の感謝祭の翌日に開催されるという「ブラックフライデー」売り出しチラシ、CMばかり。地元では一定金額のレシートを同封して郵送する方式に変更されました。寂しい限りです。

デジタル技術を駆使して、業務プロセスやビジネスモデル、組織等を根本的に変革して、新たな価値を創造する「DX」化も重要ですが、地域文化、風習は守りたいものです。



年頭のご挨拶

竹花工業株式会社 副社長
佐久生コン事業協同組合 理事長
山浦 友二

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

12月に2講演を拝聴しました。共通点は団塊の世代へのビジネスの話でした。講師は渋谷和弘先生です。内容は「団塊の世代が退職をして時間を持て余しているので、郊外にフルサービスの喫茶店、コメダ・ドトールコーヒー・星乃珈琲・すかいらーく・ミヤマコーヒーなどが出店してお店を増やしている。2023年には165万人が退職した。退職した人々が自分の時間を使うように人生の軸足をシフトし、郊外の喫茶店で時間を過ごすので、喫茶店が増えている」

というものです。

もう一人は、リハプライム(株)の小池修社長です。「12年前立て続けに両親が倒れた際に夢中で施設を探すも、利用者さんの頭を撫でながら名前をちゃんと付けで話す状況を目の当たりにしたことで介護業界へ強烈な違和感を感じ、自分の親と同じように人生の先輩を敬える施設を自分で作ろうと決意して、2011年自宅・外車、ゴルフ会員権を売って3千万円でデイサービスと訪問看護ステーションを起業した。2022年では173店舗・従業員286人・年商161億円にまでなった」。小池社長はシニアの

プライドを守る「敬護」を理念としました。「デイサービスと訪問介護の報酬だけでは事業は成り立たないので、シニアが喜んでくれることを事業化してきた。個別対応型福祉用具のネットショップ・送り迎えする美容室・喫茶店・健康食パンショップ・なんでもする娘息子サービス・移動スーパー等、自分で考えたのではなく母親・利用者がこんなことができたらいいな、と言わされたことを形にしただけです」と話していました。

団塊の世代に近い私たちは、残りの人生どう生きればいいのでしょうか？働く・働いて・働いて、命尽きるまで頑張りましょう。



2026新年のごあいさつ

株式会社増田 取締役
上土商店街振興組合 代表理事
増田 博志

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年、少数与党で発足した高市内閣も、高い支持率に安定化の兆しが見えております。大国の要求に屈せず、日本の良さを生かした政権運営、政策の実施を期待するところです。

中信地区、松本支部の課題としては、まずは空港問題、地方空港にあって搭乗率もまづまずの成果を残してきましたが、昨年11月より神戸便の減便など今後も心配される要素もあり、しっかりと利用促進や整備拡充を図る必要があります。また、パルコの撤退をはじめ、相次ぐ大型

店の閉店など、地方中核都市にあって中心市街地の活性化も大きな課題となっております。交通渋滞対策など政策課題にもしっかりと向き合っていきたいと存じます。

我々中央会の組合企業にとっても、沢山の課題が山積しています。働き方改革をはじめ、最低賃金の上昇、労働者不足、円安と物価高対策、過剰気味のインバウンド対応、DXの推進、そしてAI化への対応やサイバー攻撃などに対し新たなBGP計画など、次代に向けた変化に機敏に対応することが求められています。

組合企業の皆様におかれましては、

中央会を最大限に利用していただくとともに、常にアンテナを高くし、企業どうし、組合どうしの繋がりとコミュニケーションを大切にしていただきたいと存じます。

本年が皆様にとりまして実りある1年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



新年のごあいさつ

株式会社高瀬建材 代表取締役社長
大北生コン事業協同組合 代表理事
傳刀 俊介

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また旧年中は支部会員の皆様にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本では大阪・関西万博や東京での世界陸上など、国内外の注目を集めるイベントが開催され、文化やスポーツを通じて地域経済や観光に活気をもたらしました。

一方、国際経済では米国の通商政策などの影響により貿易環境が依然として不透明な状況が続き、国内でも企業業績や投資意欲には業種や規

模による差が見られ、力強い回復には至りませんでした。しかしその一方で、企業や地域では新たな取り組みや改善の兆しも見られ、前向きな動きが徐々に広がりつつあります。

長野県においても地域や産業による差はあるものの、観光やインバウンド事業の活性化に加え、再生可能エネルギーなど環境関連産業での取り組みも進み、さまざまな分野で前向きな動きを感じされました。さらに、気候変動への対応として森林管理や熊の出没対策など安全確保の取り組みも進められ、自然との共生に向けた活動が広がりつつあります。

大北支部としましては本年も引き続き支部会員の皆様の一助となること業推進を心がけ、取り組んでまいりたいと思いますので、当支部活動に今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が皆様にとりまして、幸多き1年となりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

田口建材工業株式会社 会長
木曽砂利生産販売協同組合 理事
中信企業振興協同組合 専務理事

田口 直幸

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、異常気象は収まることなく、記録的な猛暑やゲリラ豪雨など、気候の変動は私たちの生活や事業に大きな影響を与え続けました。物価の高騰傾向も続いており、まさに「異常」が「通常」となってしまった感を深めています。

特に、木曽地域においてもツキノワグマの出没が過去に類を見ない水準で増加し、地域住民の安全、林業や観光業にも深刻な課題を突きつけました。自然環境の複雑な変化を痛感した1年でした。

私、木曾支部長を拝命して2年目を迎えます。この1年、中小企業団体中央会の活動を通じて、組合活動を「外側」から俯瞰する視点、地域経済全体を支える視点を深く学ぶことができました。皆様方からの引き続きのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、木曽地域におけるリニア中央新幹線のトンネル工事は、徐々に、しかし着実に進み、いよいよ次の重要なフェーズへと移行しようとしています。一方で、原材料、エネルギー価格の高止まり、人手不足の深刻化、そして働き方改革による労働時間の

上限規制等、数々の問題が行く手を遮ります。

一人で悩むのではなく、組合の仲間と、そして関連組合、中央会のネットワークとも情報を共有し、知恵を出し合うことが、この難局を乗り越える鍵であると確信しております。

この1年が皆様にとって素晴らしい年となるようご祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のご挨拶

株式会社スワリク 代表取締役社長
諏訪トラック協同組合 理事長

小池 大洋

新年明けましておめでとうございます。昨年は会員皆様のご協力を賜り無事に事業を行えましたこと感謝申し上げます。

今スポーツ界では、多くの若者が海外に羽ばたき活躍をされています。時にMLBの大谷翔平選手は、4年連続のMVP受賞とすばらしい結果を残されています。サッカー界においても、多くの選手が活躍の場を求めてヨーロッパ強豪チームでプレーをし、称賛されています。このように若い方が、挑戦し結果を残しているのを見ると、日本もまだまだ世界で戦えると勇気ができます。

さて昨年度の急激な株高や東京圏での地価の高騰などで経済状況は混迷としておりますが、大手企業の良い決算発表を見ますと、大企業と中小企業の業績格差は大きく開いてきているように思われます。また都市部と地方との格差もまた開いてきているように思われます。そんな状況下の中、私達長野県で活動している中小企業にとっては、まだまだ厳しい経営を強いられている方々が多く存在していると推測します。

特に昨今の物価高、資源価格高、賃金上昇、労働力不足、働き方改革など、中小企業が直面する課題は、

一段と厳しい状況となっており、今後の事業環境が不安視される大きな要因となっております。

そのような状況だからこそ中小企業団体中央会の会員の皆さん、それぞれの立場で協力し、情報を共有し、知恵を出し合い、この荒波を乗り越えていかなければなりません。のために中小企業団体中央会を活用して、活力ある中小企業を創造してまいりましょう。

中央会会員の皆様が、本年を実りある年にできることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

MXホールディングス株式会社 代表取締役社長

日経事業協同組合 理事長

赤羽 義一

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中はご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は国内外ともに政治、経済、社会の変化が大きな年でした。私たちを取り巻く環境は少子化と急速な高齢化、国際情勢の緊迫化、物価高騰、人材不足、脱炭素対応など厳しい状況にあります。今後より変化に柔軟に対応することが求められます。

今年の干支は十干の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が組み合った「丙午(ひのえうま)」です。丙は、十干の3番目で火の要素を持ち、太

陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午は、古くから人間と共に生きてきた動物で駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在もあります。そのため丙午の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年にになると考えられているようです。新しい年がそのような年になることを願い、私もこの1年は「万事塞翁が丙午」の気持ちで過ごそうと思います。

会員の皆様とも情報交換に努め、より交流を深めたいと存じます。今後ともご支援ご協力を賜りますよう

よろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶

有限会社イワハラ 代表取締役社長

飯田水引協同組合 理事

岩原 克典

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

高市政権になって数か月、評価をするにはまだ早すぎる気も致しますが、以前とは少し違う気がして期待感を持つてしまうのは私だけでしょうか。是非共良い舵取りを期待し、今後の政局を見ていきたいと思っています。

このところの物価高騰は消費者の財布を直撃し、生活苦を訴えている人は多くいます。長引く円安の影響は原材料価格の値上がりを招き、販売価格を押し上げ、価格高騰に繋が

り、物価を押し上げています。それに伴い賃上げがそれ以上になれば、経済が良い好循環へとなるのでしょうかが、まだ賃上げが追いつかない状況にあると思います。

国の最低賃金の大幅引き上げ、人手不足による社員の待遇改善等踏まえ、中小企業は防衛的賃上げを実施するも、その分が価格転嫁に繋がれなくて経営上厳しい状況に今はあります。厳しい経済環境下だからこそ、コストカット型経済から成長型経済へと移行して、各事業者が自身の生産性向上への取り組みを行い、持続的成長へ向けて一層

の事業転換を求められていると思います。

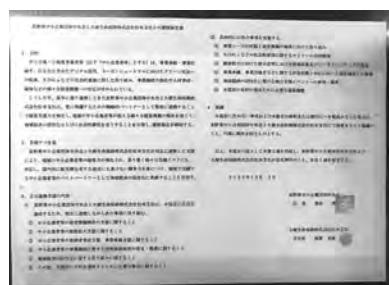
中央会組織としてもあらゆる機関と連携して組合員の発展のために寄与したいと願っています。是非にお声かけの程お願い申し上げます。

今年1年が皆様にとりまして大変良い年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

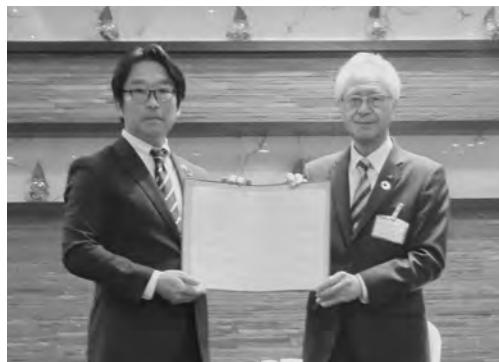
大樹生命保険株式会社と連携協定を締結

12月2日、長野県中小企業団体中央会と大樹生命保険株式会社は連携協定を締結しました。

これは、本会が支援する事業者が直面する人材育成やDXへの対応、事業承継、SDGsへの取組み、カーボンニュートラルに向けたグリーン社会への転換など様々な経営課題に関する対応が求められる中、長年にわたり「中央会の共済」として特定退職金共済等の推進に連携してきた両者がさらに飛躍するための戦略的パートナーとして緊密に連携することで経営支援力を強化し、様々な経



締結された連携協定書



協定書を持つ黒岩会長（右）と海寶支社長（左）
協定書を持つ黒岩会長（右）と海寶支社長（左）
協定書を持つ黒岩会長（右）と海寶支社長（左）

営課題の解決を通じて地域経済の活性化を目指すものです。

この協定を結ぶことで、福利厚生の充実、健康経営の推進、事業承継支援、さらには大樹生命保険株式会社のネットワークを活かした販売促進、販路開拓、各種イベント等の周知活動等への協力を進めてまいります。組合事業の推進とともに、企業の課題解決のためぜひお声がけいただきご活用いただければ幸いです。

県議会の産業観光企業委員会との 中小企業振興懇談会を開催

12月2日、長野市のホテル国際21にて、長野県議会の産業観光企業委員会との中小企業振興懇談会を開催しました。

産業観光企業委員会所属の丸茂岳人委員長、小林あや副委員長をはじめ委員の皆様にご参加いただくとともに、本会からは、黒岩清会長、阿部眞一副会長、夏目潔副会長、佐藤洋子副会長そして各支部長・監事の皆様合わせ16名が参加しました。

黒岩会長は懇談会の冒頭挨拶において、県内中小企業の置かれている現状について述べられるとともに、深刻化する人口減少・少子化への対応やものづくり補助金や省力化投資補助金等、中小企業への支援施策を積極的に推進するため本会への継続した支援を要望しました。

丸茂委員長からは、人手不足や物価高騰が続く中で中小企業を取り巻く課題解決のため、県の様々な制度を活用していただきたいとご挨拶いただきました。

井出康弘専務理事より本会の事業活動について説明の後、出席された各支部長方から、地域の状況や中小企業を取り巻く現状についてお話しいただきました。

委員の皆様にもご意見等をいただく中で、現在の地域中小企業の抱える課題をご理解いただく貴重な機会となりました。



懇談会で挨拶される黒岩会長

生産性革命と挑戦

治具の熱変形を抑え、熟練技能のロボット化により金属熱処理前段取り作業の自動化に成功。

継承される日本刀の製造技術

鉄を真っ赤になるまで熱して打ち、水で急に冷ますことで、鋭く強くしなやかな日本刀を作る刀鍛冶。日本刀づくりの基本技術は約千年前には確立していたといわれます。

その技術と経験は日本の金属熱処理の現場に脈々と継承。生み出された高品質・高性能・高機能な製品は自動車産業を始め、建設機械、産業機械、家電、電子機器、半導体関連まで、あらゆる主要部品に使われています。

金属熱処理加工は「焼入れ」「焼戻し」「焼なまし」「焼ならし」があり、金属材料の用途・目的によって使い分けます。それぞれの技術分野で熟練技術者が活躍していますが、需要やニーズ拡大にともない自動化による生産性向上が求められています。

熱処理前段取り作業を自動化

金属熱処理の丸眞製作所は、熟練者の経験値や勘をデジタル化した「炉内環境制御技術」の開発など、熱処理工程の自動化を推進。さらに増産やコストダウンのニーズに対応するため、熱処理前段取り作業の自動化にも取り組みました。

従来、製品を熱処理する際に使う治具（吊り棒やバスケット）は熱変形するため、そのつど人手で作業する方が汎用性が高く、コストも安いと考えられてきました。その一方で、人手不足により熟練作業者に作業が集中。熱処理設備の稼働率が上がらず、増産や新規受注に対応できないという問題が発生していました。

熱処理前段取り作業の自動化の最大のネックは、治具の熱変形をいかに抑えるか。「その技術開発に何度も挑戦しましたが、どうしてもクリアできず諦めていました」。今井寛副社長が明かすように、なかなか克服できない課題でしたが、より高品質な製品を安定供給するためには避けて通れない道。

同社は2022（令和4）年、ものづくり補助金を活用し、再チャレンジをスタートします。構造解析を繰り返し、熱変形しないセット治具の最適形状化技術を確立するとともに、熱変形した吊り棒を自動矯正する技術を開発。その成果を組み込み、熟練作業者の技能をロボットに置き換えた「自動吊り段取作業装置」の開発・導入に成功しました。「同様のシステムを導入している同業社はないのではないか」と今井副社長は胸を張ります。



熱処理用の吊り棒(治具)に手でかける



熱変形を抑えた熱処理用のバスケット



自動化された金属熱処理ライン



ロボットが作業を担う自動吊り段取作業装置

次の一手に役立てていきたい

同社は1949（昭和24）年、機械部品及び金属熱処理加工の「丸眞高木製作所」として創業。2020年にホールディングス体制への転換を機に、機械加工はグループ会社で担い、金属熱処理専業となりました。

もともと精密機器部品を中心に手がけていましたが、HV（ハイブリッド車）の生産が始まった頃より自動車部品の受注が増大。現在、国内メーカー全社、一部海外メーカーも扱うなど自動車部品が7割近くを占めています。一方で、自動車部品製造における高い実績と評価が注目され、産業用機械や半導体製造装置など、幅広い分野から受注が拡大しています。

今井副社長は「今回導入したシステムを使いこなすことで生産性とコスト競争力の向上を図ることはもとより、知見を深めることによって次の一手に役立てていきたい」と力を込めます。

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金第11次採択企業

株式会社丸眞製作所

代 表 代表取締役 高木 克彦

設 立 1958（昭和33）年7月

資 本 金 3,000万円

従業員数 102名

本 社 岡谷市10016-471

TEL/FAX TEL.0266-75-8100 FAX.0266-75-8107

組合設立の経緯



組合外観

上小建設事業協同組合は、昭和25年2月に設立されました。上田市・東御市・小県郡青木村・小県郡長和町のエリアに所在する建設事業者で構成されており、かつては、組合員への運転資金の貸付事業や各種申請用紙の販売事業を行っていましたが、時代の流れとともに事業環境が変化する中で主力の事業を変化させてきました。現在では、建設資材の共同購買事業をメインに行っており、主に生コンクリートの共同購買が主力事業となっています。

建設業界の今

建設業界では、急速にDX、ICT化が進んでおり、従来のイメージを覆す働き方が可能となってきています。特に、ICT活用は目覚ましく進歩しており、大きく分けて5つの段階で進められています。①工事を始める前に行う測量、②図面や測量データをもとに3次元データ化する設計、③3次元データをもとにICT建機を使って工事する施工、④完成した工事の出来具合を3次元データと照合して確認する施工管理、⑤施行内容を3次元データで発注者へ納品と様々な場面でICTの活用による業務の効率化、負担の軽減が図られています。

また、女性が働く環境を整えるため、女性部である「千桜会」を立ち上げ、建設業界で働く女性が集まる機会を持つことで、横のつながりや働きやすい環境の整備に取り組んでいます。

理事長：佐藤 公明

設立：昭和25年2月28日

住所：上田市材木町一丁目2番31号

T E L : 0268-24-8133

後世に残る仕事

ダムやビルなどの大型の建物をはじめ、道路や住宅など携わった仕事が目に見える形で残るものを作っている業界です。後世に残る様々なものを作ることが、やりがいに繋がっています。

近年では、小学生をはじめ中・高校生を対象とした業界の魅力発信にも力を入れています。特に小学生向けに「建設業図鑑」を製作し、出前授業として建設業の楽しさややりがいを伝えています。また、各種イベントでの高所作業車やバックホーの試乗体験、ドローンの操作体験など、建設業で扱う機材に触れることで、業界を身近に感じてもらう取り組みを積極的に進めています。



配布している建設業図鑑

今後の展望

災害復旧には、建設事業者の力が必要不可欠です。発災時には、寸断された道路の応急処置や堆積物の搬出など、消防や自衛隊員が活動できるよう準備をしているのが、地域に根差す建設事業者です。テレビに映ることはありませんが、地震や水害などの災害が起きた際には、真っ先に現場に駆けつけて復旧作業に当たるなど、安心した生活ができるよう地域を守る活動も行っています。

「建設業界は日々進化しており、後世に残る建物の建設に携わることのできるやりがいのある仕事です。多くの方に建設業界に興味を持ってもらえるよう今後も様々な取り組みを行っていきます」と佐藤公明理事長は話されました。



佐藤理事長

人材不足や有資格者の高齢化など様々な課題もありますが、業界の魅力を発信することで、新たな建設業のイメージを広めていきたいです。



わが社の経営戦略

平澤林産有限会社

(上伊那木材協同組合・組合員)

Vol.45

地域に密着し価値ある森林づくりを推進。架線集材技術、ドローンなど最新技術を駆使した生産性の高い林業で黒字経営を続ける。



立木での目利きが大切

「伐採ばかりではなく、立木を見て、それがどんな木で、残したらどうなるのかまで知らないと林業はやっていけない」。平澤林産の平澤照雄社長は立木の段階での目利きの大切さを強調します。



木材の価値を高める方法で伐採

同社は立木買い取り・生産販売・森林コンサルタント、支障木処理、特殊材の注文販売など、地域の健全な山づくり・森づくりで60年以上の実績を誇る林業会社です。売上げの約4割が立木の買い取り。木を伐り出して土場まで届ける請負事業、支障木の伐採がそれぞれ約3割ほどで、現場で出た端材・枝葉等は破碎、チップなどに加工処理しています。

直径1m以上の大木の伐採も年に数本手がけ、「売上げはもとより、会社のイメージアップになり、社員の士気も上がります」と平澤社長。安全、品質を重視した技術力とノウハウが高く評価され、金閣寺や銀閣寺、伊勢神宮、復元・復興が進む沖縄・首里城の柱材など文化財の建造・修復等に使用される木の伐採・納入も行っています。

同社が一貫して取り組むのは、山主や財産区、行政等に寄り添い信頼関係を築き、健全で価値のある森林づくりを提案・実行し、価格の高い木を厳選して伐採し販売すること。山主等はより多くの投資回収ができ、同社も収益が上がり安定した事業展開が可能になります。その実績が評価され、契約エリアは地元上伊那および下伊那から県外まで広範囲に拡大。補助金頼みが多い業界にあって順調に仕事量と売上げを伸ばし、黒字経営を続けています。



大木の伐採で士気が上がる社員たち

く貢献しているのに、県内の現場林業従事者は約1,400人しかいない」ことを危惧。国産木がある程度の価格で取り引きされることが大事、と強調します。

架線集材の技術向上と自動化に注力

事務所内にあるボードには、木を伐り出したり運搬するための機械や車両のキーを架けるフックが數十台分、ズラリ。その多くが出払い、稼働中と分かれます。

同社がこだわるのは、山の作業道造成を最小限に抑えて環境負荷をかけないこと、保全のため木を残すこと、周囲の残存木に傷をつけることなく高く売れる木を厳選して伐採・搬出すること、そして間伐して育林すること。

そのために必要不可欠として技術を磨くのが「架線集材」。急峻な山から集積場所までタワーにワイヤーロープを張り、伐採木をロープウェイのように吊して運ぶ方法です。同社は作業を自動化し安全性・省力化を図るため最新の集材機を導入。「それは命に関わるから。建機メーカーとコラボして開発した10台のうち3台を保有しています」。さらに作業道がない急しゅんな場所への荷揚げ作業にはドローンも活用。数千万円にも上る機械化投資には各種補助金を活用しています。

「誰もできないことをやって評価され、社員のモチベーションが上がる。当社は一貫してそれをやってきました。機械化は生産性向上と社員の給与を上げるための投資。その効果は歴然と出ていますよ」。平澤社長の言葉から大きな自信が伝わってきます。

「一時期、社員を半分以下に減らせばもっと稼げると思った瞬間がありました。しかしすぐに止めました。何より従業員とその家族が大事だと思ったからです」。この理念が高い技術レベルを持つ社員の層の厚さにもつながっています。



平澤照雄代表取締役

代 表 代表取締役 平澤 照雄

設 立 1985（昭和60）年6月

従業員数 25名

本 社 伊那市西春近4105

TEL : 0265-78-2228 FAX : 0265-78-5775

事業内容 立木買取り・生産販売・森林コンサルタント、支障木処理・特殊材注文販売など



信州の魅力探訪

VOL.8

佐久市観光協会

爽やか信州佐久で感動体験！

「子どもたちに感動を！」 佐久バルーンフェスティバル

5月の大型連休に開催される長野県下最大級の熱気球大会。

約40機の色とりどりの気球が佐久高原の爽やかな風に乗って飛行する姿は圧巻で、全国から多くの観客が訪れます。

期間中、熱気球の係留体験も開催され熱気球に搭乗し上空の爽やかな空気と、新緑の佐久平を感じることができます。



信州佐久は酒の郷

山々に抱かれた佐久市は、その恵みの伏流水と古くから盛んだった稻作や、冬の厳しい寒さにより酒造りが育まれ、市内11の酒蔵がそれぞれの蔵人の手によって受け継がれながら、時間と酒を醸しています。

この良質で清らかな水と長野県産、佐久市産の酒米が醸す、スッキリと爽やかな味わいと喉越しが楽しめます。

佐久市にある日本に2つしかない五稜郭

日本では北海道函館市の五稜郭が有名ですが、佐久市にももう一つの五稜郭である史跡龍岡城跡があります。

龍岡城は1867年（慶應3年）に田野口藩主松平乗謨によって建てられた新陣屋です。

フランスの城郭をモデルにした星形の平城は、洋学に精通する松平乗謨ならではの先進的なものでした。1871年（明治4年）に陣屋は取り壊しとなりましたが、現在は堀と土塁、建物の一部「お台所」が残されています。

春にはお堀の周囲を桜が彩り、多くの観光客が訪れます。





はじめに

今年度は、長野県ITコーディネータ協議会への生成AI（ChatGPT等）に関する講師派遣が増加しました。

人手不足の深刻化、熟練人材の高齢化、業務の属人化など多くの中小企業が抱えるこれらの課題は、もはや現場の工夫や努力だけで乗り越えられる段階を超えつつあります。

DXという言葉も広く浸透してきましたが、その本質は新しいITを導入すること自体ではありません。限られた人材で持続的に価値を生み出す経営構造へ転換できるかどうかにあります。生成AIの進展により、その実現手段としての関心と期待が、静かに高まりつつあります。

とはいって、「話題にはなっているが、まだ様子を見たい」と考える経営者も少なくないでしょう。無理に導入を急ぐ必要はありませんが、早期に理解を進めておくことは、将来の選択肢を広げるという意味で重要になります。

「守りの領域」で 生成AIの活用を考えてみる

まず「守り」の観点で分かりやすい取り組みが、間接業務の効率化です。文書作成や報告業務に生成AIを活用した中小企業では、議事録作成や報告書の下書きにかかる時間を約30～40%削減できたと言います。文章のたたき台作成や要約をAIに任せ、最終確認を人が行う運用に切り替えたことで、管理職の残業時間削減にもつながりました。



これは単なる省力化ではなく、人材を本来の判断業務へ振り向けるためのDXだと言えるでしょう。

また、社内ノウハウの共有においても、生成AIは有効です。過去のマニュアルやQ&A、問い合わせ履歴などを整理し、生成AIと連携させることで、「聞けば答えてくれる仕組み」を構築できます。特定の担当者に質問が集中する状態を緩和し、若手社員が自ら調べて解決できる環境づくりにつながります。属人化の解消や教育期間の短縮という点でも、人材戦略上の効果は大きいと言えます。

「攻めの領域」で 生成AIの活用を考えてみる

一方、「攻め」の視点では、生成AIは経営者や幹部の思考を補助する存在となり得ます。新商品・サービスの検討や営業戦略の方向性整理などにおいて、情報の整理や仮説出しを支援する優秀なアシスタントとして活用することが可能です。答えを生成AIに委ねるのではなく、考えるための材料を増やすという使い方が現実的だと言えるでしょう。

また、営業の提案力を高めるアシスタントとしても活用できます。提案書が「自社目線」に偏り、顧客業界への理解が浅いままで提案してしまい、受注に至らないといった課題に対しても、生成AIは有効です。顧客の業界動向や課題をAIに整理することで、より質の高い提案内容を作成できる、優秀な営業アシスタントとして役立てるることができます。

さらに、提案内容をデザインに落とし込み、プレゼンテーション資料を作成するといった作業を得意とする生成AIも登場してきています。

さいごに

生成AIの活用は、短距離走ではなく中長期の取り組みです。まずは理解し、小さく試しながら、自社に合う形を見極めていく。その一歩が、将来的のDXと人材活用の土台になるのではないかでしょうか。

STOP ! 冬季労働災害

～転ばぬ先の「靴選び」と「凍結防止」を～



長野労働局労働基準部健康安全課

まずは重点事項を確認し、取り組みを!

1. 冬季に入る前までに準備期間を設定し、職場巡回等を実施しましょう。
2. 凍結しやすい箇所など転倒リスクの高い箇所に対して対策を講じましょう。
3. 交通労働災害を防止するため、早期の冬用タイヤへの交換、運転実施者への安全運転教育等を行いましょう。
4. 除雪・融雪等作業を行う場合は墜落・転落、転倒、はさまれ・巻き込まれ災害等の危険性を作業開始前までに特定し、対策を講じましょう。

冬季特有の転倒災害を防止するための実施事項

1. 床面等は、くぼみや段差がなく、滑りにくい構造とし、凍結等で滑りやすいところは、滑り止めの措置を講ずるなどの措置のほか、除雪、融雪剤の散布により安全通路を確保しましょう。また、凍結路面等が見えにくい場所については、夜間の照明の照度を上げる等の対策を講じましょう。
2. 床等の水たまりや氷は放置せず、その都度除去とともに、溜まりやすい箇所には吸湿性のあるマットを敷く等の措置を講じましょう。
3. 履物は、凍結等のリスクに見合ったものを着用しましょう。また、靴底がすり減っていないかを点検しましょう。
4. 階段には、滑り止めや手すりを設け、走らず、一段飛ばしを行わないようにしましょう。
5. 凍結の有無を確認してから次の動作に移るようにしましょう。
6. 凍結のおそれのある場所では、滑り等による転倒を意識して歩き、むやみに走らないようにしましょう。特に「ながら歩き」等の危険行動については厳禁とするよう注意喚起を行い、また、服やズボンのポケットに手を入れたままの歩行は避けましょう。
7. 建物等の入口には、雪、水分を除去するためのマットやブラシ等を備え、凍結の要因となる水分を持ち込ませない措置を講じるとともに、凍結のおそれのある屋内通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策を実施しましょう。
8. 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成を行い、関係者に周知しましょう。
9. 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直しを行いましょう。
10. 上記1から9の事項について、労働者に対して周知・注意喚起等すべきものについては、教育やミーティングの場を通じて適時周知等しましょう。

転倒災害の主な負傷部位は「手首」「足首」「ひざ」

過去10年間の冬季間（12月～2月）に発生した転倒災害2347人のうち、主な傷病部位は「手首」「足首」「ひざ」で全体の約4割（39.2%）を占めます。

万が一転倒してしまった際に「手首」「足首」「ひざ」を守る服装・サポーターの着用なども有効です。

個別の対策については、
長野労働局ホームページ
「冬季災害防止特設
コーナー」を参照



転倒危険場所の見える化ステッカーを
活用しましょう。



厚生労働省ホームページ
「危険の見える化ステッカー」で検索

学びなおしと仲間づくりしませんか！ 令和8年度 長野県シニア大学 学生募集

一般コース

●募集期間

令和8年2月2日（月）～3月31日（火）

●募集人員

690名（佐久、上小、諏訪、伊那、南信州、木曽、松本、大北、長野、北信）

●入学資格

おおむね50歳以上の県内在住の方

●学習期間

2年間（標準学習日数は月2日、年間15日程度）

●学習内容

教養講座 社会情勢、地域の歴史、健康管理など

趣味・健康・交流講座 俳句、絵手紙、書道、写真など

地域づくり講座 地域や課題を知る、フィールドワークなど

●授業料

年額12,000円 ※他に、自治会活動費等の費用が必要となります。

<月に2日なら、勤めながらも通えそう！>

※専門コース 定員30人 長野学部

全県の皆さんを対象に、地域のリーダーやプロデューサー的人材を養成する1年制コースを長野学部に設置しています。



授業料 年額26,000円 年間10日程度
講座内容など詳細はお問合せください。

■募集案内・願書の配付先

長野県シニア大学本部・各学部

（長野県内各保健福祉事務所福祉課内）

市町村役場（高齢者福祉担当課）



■お問い合わせ先

長野県シニア大学本部

（公益財団法人長野県長寿社会開発センター）

TEL：026-226-3741 FAX：026-226-8327

<https://www.nicesenior.or.jp/daigaku>

税務署からのお知らせ

＼書かない ✗ 確定申告／ マイナンバーカードで自宅からe-Tax

確定申告に必要なもの

- ✓ スマホ（マイナンバーカード読み取り対応のもの）
- ✓ マイナンバーカード
- ✓ マイナンバーカードのパスワード2つ

パスワードを忘れた場合やロックされた場合の対処法については、地方公共団体情報システム機構のホームページをご確認ください。

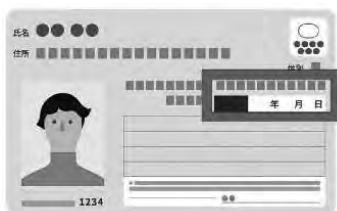


確定申告はご自宅から！

スマホでも
できちゃう♪



マイナンバーカード及び電子証明書の有効期限にご注意ください



有効期限を過ぎた場合、e-Tax手続等のご利用ができません。特に、確定申告期は、更新窓口（市町村）の混雑が予想されますので、お早めに更新手続をお願いします。

有効期限や更新手続等の詳細は、

「デジタル庁公式note」をご確認ください。



がんへの不安に備える「がん総合共済」

満67歳までの方がご加入いただけます。満80歳までご継続いただけます。

年齢・性別問わず、月々の掛金1,500円で、

※月々の掛金は、満80歳までかわりません。

がんと診断されたら ⇒ 50万円

がんによる入院日額 ⇒ 5,000円

※第1保障区分(満15歳から満64歳まで)の場合です。診断・がん入院ともに満65歳からは保障額がかわります。

さらに、手術・放射線治療 退院後の通院支援まで保障

2口までご加入いただけます。がん診断で100万円



こんな疾病をお持ちの方も大丈夫！まずはご相談ください。

現在、糖尿病で
通院治療を
しています。



4か月前に
心筋梗塞で
手術をしました。



長野県福祉共済協同組合

フリーダイヤル 0120-86-9431

長野市中御所岡田131-10
長野県中小企業会館3階

✉ fuku@naganokyosai.or.jp 「ながの共済」で検索 <http://www.naganokyosai.or.jp>

求人支援及び就労支援事業

「安心で正確」な求人情報を掲載！

求人Naviながの

人材確保が難しい長野県内の中小企業を支援するとともに勤労意欲のある方への就労の機会を支援しています

公益事業として行っておりますので、利用者・登録企業から
対価等は一切いただいておりません



その他公益事業

■ 福利厚生施設優待利用補助事業

セラヴィリゾート泉郷、斑尾東急タングラム、アバ上越妙高 ほか
ご利用の際は当財団までご連絡ください

■ 人間ドック等助成事業

中小企業事業主・従業員の方へ、成人病の早期発見と健康保持のために人間ドックを推奨しています
人間ドック費用の一部を助成します(年度予算に達した時点で終了)

■ 機関紙発行業務

提携保養施設のご案内等、幅広い情報を掲載。機関紙MIND信州(年2回)発行

●お問い合わせ [受付時間:月～金 午前9:00～午後5:00(祝日除く)]

公益財団法人 中小企業ながの財団 TEL.026-228-1176(代)

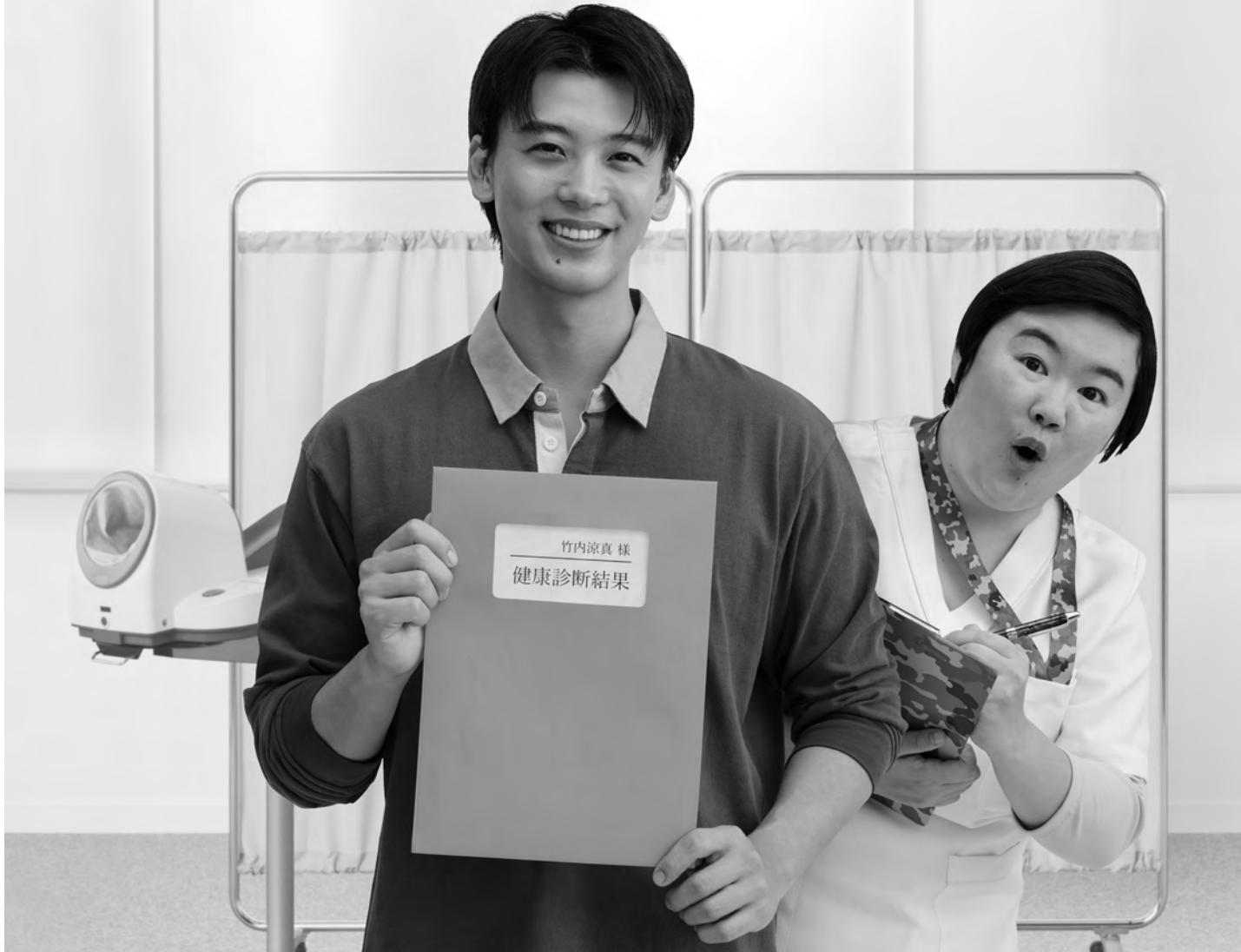
〒380-0936 長野市中御所岡田131-10 長野県中小企業会館3階

当財団のホームページでもご確認いただけます <http://www.mdnagano.or.jp>

ながの財団は、
長野県内の中小企業を
応援しています



健康で保険料がおトクに!



健診結果を出し、条件を満たせば、
保険料がお得になるかも!

※健康自慢(健康体料率(特約用))を付加できる保険は、大樹セレクト(無配当保障セレクト保険)です。健康自慢の付加にあたっては、所定の要件があります。
※ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」をご覧ください。

大樹生命保険株式会社 松本支社 〒390-0811 長野県松本市中央 1-21-8 TEL:0263-34-3585 <https://www.taiju-life.co.jp/>
長野営業部 TEL:026-226-2820 松本営業部 TEL:0263-35-8519 飯田営業部 TEL:0265-24-4980 諏訪営業部 TEL:0266-52-1356
あづみ野営業部 TEL:0263-84-0256 東御営業部 TEL:0268-64-5413 佐久営業部 TEL:0267-62-0358 上田営業部 TEL:0268-24-2755

よりそ う 保 険。
 大樹 Taiju Select セレクト

無配当保障セレクト保険

健診診断などの結果をご提出いただき、付加条件を満たしている場合に、健康自慢を付加することで対象特約の保険料がお安くなります。

R-2024-1008(2024.10)

中央会 今後の主な予定

日 程	時 間	会 場
正副会長会議	令和8年 1月27日(火)	午後3時
地区代表者会議 (政治連盟通常総会)		午後3時30分
阿部知事との意見交換会		午後4時
連合長野との懇談会	2月13日(金)	午後4時
正副会長会議	4月22日(水)	午前11時30分
理事会		午後0時30分
正副会長会議	5月25日(月)	正午
政治連盟報告会		午後1時30分
通常総代会		午後2時

詳細につきましては、後日郵送いたします案内をご覧ください。

令和8年 支部新春講演会日程

支 部 名	日 程	時 間	会 場
下伊那	2月2日(月)	午後3時より	飯田市「シルクホテル」
上小	2月5日(木)	午後4時より	上田市「香青軒」
上伊那	2月6日(金)	午後3時より	伊那市「割烹海老屋」
長野	2月10日(火)	午後4時より	長野市「ホテルメトロポリタン長野」
佐久	2月12日(木)	午後4時より	佐久市「佐久グランドホテル」
諏訪	2月12日(木)	午後3時より	諏訪市「ホテル紅や」

※中信3支部は合同講演会・懇親会を令和7年12月3日(水)に開催いたしました。

☆働きやすい職場環境づくり
「企業の社会的責任(CSR)」を果たすとともに「あらゆる差別の撤廃と人権教育の推進」に邁進しましょう。

地球に優しい企業人の皆様へ
“あなたにもできる。
ライフスタイルの見直しで、
1人1日1kgのCO₂削減”



知恵と力を合わせて信州を元気に
月刊 中小企業レポート
MONTHLY REPORT

2026

1

No.590

第590号 令和8年1月10日発行

発行人 井出 康弘

発行所 長野県中小企業団体中央会
長野市中御所岡田町131-10
長野県中小企業会館内4F
TEL.026-228-1171

印刷所 カシヨ株式会社

もっともっと、 できる商工中金へ。



もっと、お客様のニーズに応えることができる。もっと、新しいことにチャレンジできる。

それぞれが個性を活かし、未来に向かって、もっともっと「できる商工中金」へ。

企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。  **商工中金**

長野支店 〒380-0814 長野市西鶴賀町1483-11
諏訪支店 〒392-0026 諏訪市大手1-14-6
松本支店 〒390-0811 松本市中央2-1-27

TEL:026-234-0145
TEL:0266-52-6600
TEL:0263-35-6211